

WEB 連載 Entertainment・Essay

木村奈保子の音のまにまに

Written By NAHOKO KIMURA

「レッドドラゴン」VS「ジョーカー」

木村奈保子の音のまにまに | 第14号

ホアキン・サイコ・フェニックスとシリアルキラー

昨今の日本は台風、水害などによる自然災害が多く、その状況を日々、見聞きするだけでも力が抜けてくる。映画モンスターから人間を救う方法は、あるのだろうか。

一方、まさかの人々が、いじめ、虐待、殺人などの事件を犯し続けている。平和なはずのこの国は、どうなっていくのか？ 人間をモンスターに変えるのは、何か？

事件報道では、被害者の家族や周囲の人々の悲しみが映し出されるが、それよりも、加害者の周辺を見せたいというつも思う。

最後に加害者の事情が解明されないこと、事件を連日放送する意味がない。加害者の異常心理がそこにあったら、分析・解明するところまでつづけないと、騒いだだけということになり、なんの教訓も残さない。



日本でも、シリアルキラー（連続殺人犯）をはじめ、事件の加害者による異常心理を知ることが、身近になってきているのではないかと。

そういえば、シリアルキラーを描く映画興味が数年前にアメリカの雑誌で発表されたことがあったが、そのベスト10に、**日本映画「復讐するは、真にあり」（日・1979）**が後半7位に入っていた。詐欺と女性関係で殺人を犯してきた実在の男をルポした佐木隆三の原作を今村昌平が監督、梶形拳が主演した。最近の日本映画は、この種の人間心理をえぐりくぐり真正面から描こうとする作品はなく、爆音チックな俳優たちの演出と演技で、テレビ的な傾向にある。重いものを壊すという現代志向に準じているのだろうか。

さて、アメリカ映画では、「セブン」（米・1995）が1位を記録。また「セブン」と同じ監督の「ソディック」（米・2007）、おなじみの「**羊たちの沈黙**」（米・1991）もベスト10入りしていた。中でも、パイオニア的描写がない「サイコ」（米・1960）は、犯罪者心理のバイブルと書けるため、ベスト10入りは当然だろう。

要するに、サイコの基本は、母親との心理関係にある。愛情という名の支配にとらわれた息子は、歪んだ愛の呪縛から逃れられない、というのがトラウマにある。母親の責任たるや、重大である。

「あとにならなくて自己責任」という説もあるが、シリアルキラーにとって、親との関係、あるいはそれに準ずる出生の背景が無関係とは言えない。

その流れで、ハニノリル・レクター博士シリーズ4作のうち3作目、「**レッド・ドラゴン**」（米・2002）は、心に残るシリアルキラー映画の1本だ。本作で、レイフ・ファインズの狂気ぶり、筆者に及ぶかというほどの「マ・マスター」のカルト信者ぶりから、殺という一線を超越する存在として、リスペクトの対象である。狂気のスター、亡きリバー・フェニックスを見つけたが、同じブエリトリコ出身で、カルト崇拝信者の両親たちから生まれたホアキンは、私生活の激動も異色で、心に複雑さを抱えているのではないかとと思われる。

彼どころを見事に演じる、といった凡庸なものではなく、彼どころをはるかに超える、超越した存在だ。美脚は、小柄で華奢で繊細な人であっただけに、狂気にはまる時の内面から出るえくさくさが、新鮮だ。

昨今、この「レッド・ドラゴン」に重なる、あるいはそれを超えるのがバットマン・シリーズの最新作「**ジョーカー**」だ。

これまでも、バットマンの敵役で登場したジョーカーは、ジャック・ニコルソンやヒース・レジャーなど、いずれも評議の高い演技を見せているが、ホアキン・フェニックスによるジョーカーは、バットマンと関係なく、単品で見るべき価値がある。

いや、「バットマン」シリーズに入れたのがもったいないほど、これは「狂気のなかの純情」を合わせ持つ、まさにホアキン・サイコ・フェニックス映画なのである。

ホアキン自身の私としては、メジャー作「**グラビティ**」よりも、「**ウォーク・ザ・ライン**」書につづく道」の中核で、「**マ・マスター**」のカルト信者ぶりから、殺という一線を超越する存在として、リスペクトの対象である。狂気のスター、亡きリバー・フェニックスを見つけたが、同じブエリトリコ出身で、カルト崇拝信者の両親たちから生まれたホアキンは、私生活の激動も異色で、心に複雑さを抱えているのではないかとと思われる。

監督のトッド・フィリップスは、そもそも本作のシナリオをホアキン用に書いたという。彼の狂気の味を知り尽くし、「存在すること」以上に何一つ注文はつけなかった、という姿勢がいい。抑圧を抱えたホアキン・サイコは、冷厳な入ったり、フラフラ落ちたり、もうや放り投げられる方で、それがアートに昇華されている。

ホアキンの魅力は、ジョーカー用の黒のスーツではなく、本作では赤いスーツ。かりがりに着せて、歩く姿が踊っているように見えること。跳がけている状態なのに、ラッパだからか、微妙にリズムがいい。ダンスはステップを覚えることじゃなく、体で音を感じることでホアキンの肉性は語っている。

殺人者キャラクターの設定としては、環境に恵まれなかった普通の男が、シリアルキラーになる前から登場し、心の狭さにより悪に転じる話。つまり、生まれながらのサイコパス凶悪犯ではない。人との関わりによって、変わっていくものだ。

おかしくないに笑ってしまう、チック症のような病を抱えながら、ピエロ装でバイトをするコメディアン志望の善良な若者を狂気に導いていくものは、何なのか？ ジョーカーがどのようどこころとする、病める母親との歪んだ関係とは？ 怒りを表していくホアキンのサイコチックなワマンショーは、あの映画界最高峰の俳優、デ・ニーロをテレビの裏面にまわし、スターの座を奪うほどの強烈さ。

社会からつまみ出されたサイコモンスターが、自立的な願望を果たすかのように有名人とテレビ出演し、果ては、同じような社会に不満を持つ人々から、存在を認められてしまうような展開は、いかにも犯罪者の願望そのものだろう。

架空のゴッサム・シティを舞台に、親の虐待、職場のいじめ、格差社会の差別のなかで、モンスター化した主人公は、いかに悪夢の人生を回避できたのだろうか？

現代社会に合わせて、サイコモンスターも普通の生活圏内にいて、決して他人事ではなく、もはやアメリカだけではなくと思われる、今日このごろ。

『ジョーカー』
 製作：トッド・フィリップス
 監督・脚本：トッド・フィリップス
 脚本：スコット・シルバー
 出演：ホアキン・フェニックス、ロバート・デ・ニーロ、フランセス・コンロイ、ザジー・ビーツ
 配給：ワーナー・ブラザーズ映画
 ©2019 Warner Bros. Ent. All Rights Reserved™ TM & © DC Comics
<http://www.warnerbros.co.jp/jokermovie/>

NAHOK Information



PRODUCTS

木村奈保子さんがプロデュースする「NAHOK」は、欧州製特殊フアブリックによる「防水」「湿度調整」「衝撃吸収」機能の楽器ケースで、世界第一級の演奏家から愛好家まで広く愛用されています。http://nahok.com

リュック式 三線プロテクションケース「Shimakaji/wf」

三味線に続いて、三線ケースを完成しました。昨今は、和楽器も手掛けている。フルートケースに和楽器を入れている方もいます。固定ベルトで三線を抱められ、底マットは楽器を衝撃から守ります。内装にはフラスナーポケット3つ付き。



マットエメラルドグリーン

マッドエメラルドグリーンは美しく深いグリーン。厚手ならではのどっしり感と欧州独特のアースカラー。落ち着いた大人の色と素材感が魅力です。

H管フルートケースガード「Krysar/wf」

ディープブルー / アイボリー

フルートフルートH管はかなり長いので、対応ブリーフケースは特注です。各色1点のみハンドメイドでご用意しました。通常のH管フルートケースにジャストサイズで使用できます。ハードケースを入れたままフタが開けられます。



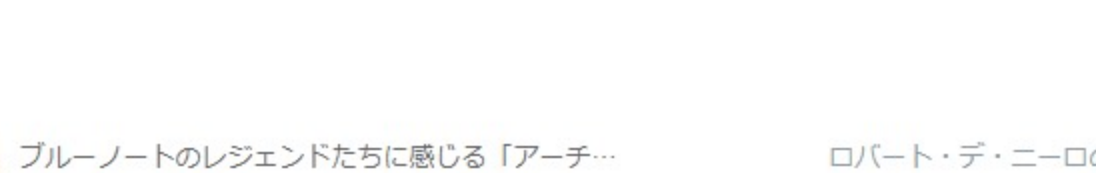
ディープブルー / アイボリー

製品の特徴：ドイツ製完全防水生地・湿度調整調整素材 with 止水ファスナー
 生産国：Made in Japan / Fabric from Germany

問合せ＆詳細はNAHOK公式サイトへ

>>BACK NUMBER

- 第11回：PRAY FOR KYOANI「**けいひん**」を撮る
- 第12回：**母と娘**
- 第13回：ブルーノートのレジェンドたちに感じる「**アーチスト・ファースト**」



<前の記事>

ブルーノートのレジェンドたちに感じる「アーチスト・ファースト」

ロバート・デ・ニーロの偉大成「アイリッシュマッ

>次の記事>

ITEM

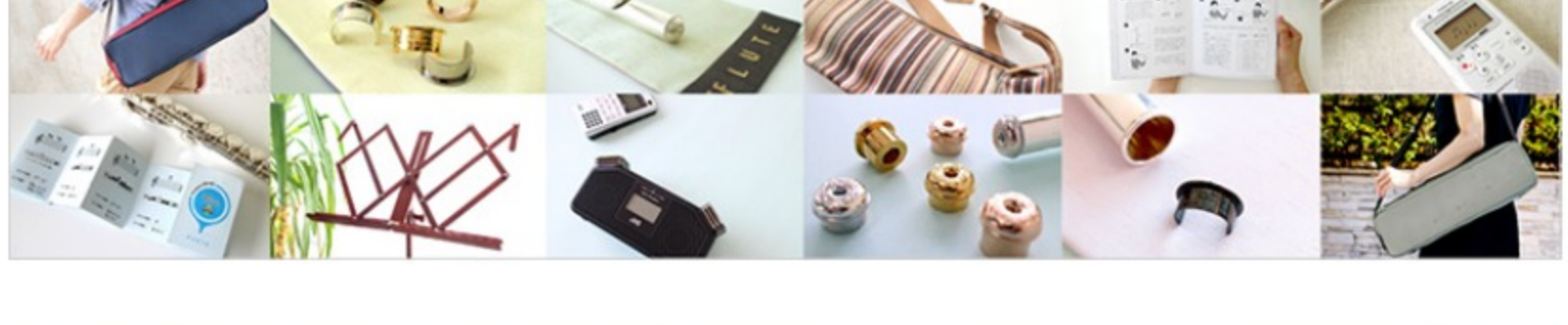
<p>FLUTE CLUB 1st+CD 価格：9,000円</p>	<p>FLUTE CLUB 2nd+CD 価格：9,000円</p>	<p>FLUTE CLUB 3rd+CD 価格：9,000円</p>	<p>FLUTE CLUB 4th+CD 価格：9,000円</p>	<p>FLUTE CLUB 5th+CD 価格：9,000円</p>	<p>FLUTE CLUB 6th+CD 価格：9,000円</p>
---	---	---	---	---	---

関連記事

- 平昌オリンピックと音楽 | 木村奈保子の音のまにまに | 第1号
- MeTooの土壌、日本では？ | 木村奈保子の音のまにまに | 第2号
- 女性の告発に、なぜ目をつぶるのか | 木村奈保子の音のまにまに | 第9号
- 知るべきすべては音楽の中に――楽器を通して自分を表現する | 木村奈保子の音のまにまに | 第7号
- ヒロイックな女たち | 木村奈保子の音のまにまに | 第5号
- エリック・クラプトン〜サウンドとからむ生きざまの物語〜 | 木村奈保子の音のまにまに | 第3号
- 看板ではなく感性で聴くことから文化が高まる | 木村奈保子の音のまにまに | 第8号
- 思いあふれて……振り下げて深める音楽愛 | 木村奈保子の音のまにまに | 第10号

アーティストの言葉に励まれよう BackNumber

Cover Story



Flute Concert Guide

フルートのコンサート情報をお届けします。

PDF Download

アルソ出版 発行楽譜 PDF

ダウンロード販売 スタート!

THE FLUTE お知らせ

THE FLUTE vol.174
 THE FLUTE | バックナンバー
 FLUTE CLUB 入会・更新はこちら
 フルート楽譜一覧
ENTRY 投稿・応募
 >> THE FLUTE アンケートへ

KAWAI Music School
 レ・フル新音
 Brand guide
 メロディーと上手に付き合うと楽譜がうまくなる
 KORG KDM-3
 クラリネット音源の新たな魅力を体験してみませんか?
 大募集

オリビアを聴き...

- オリビアを聴きなから | 音屋 ▶ 941
- 悲しくてやりきれない | 村上ゆき ▶ 493
- 赤いスイートピー | 松田聖子 ▶ 549
- 若者たち | 岡山洋太郎 ▶ 381
- 夢をあきらめないで | Dreams Come True ▶ 404
- 涙をあきらめないで | 岡村孝子 ▶ 551
- 恋はみずいろ | Lamou est bleu ▶ 403
- ロゼンツィン | スピッツ ▶ 600
- 歌の雫に恋してる | CAN'T TAKE ... ▶ 552
- PIECE OF MY WISH | 今井美樹 ▶ 447
- Hello, Again〜昔からある場所〜 | 300
- CAN YOU Celebrate? | 安室奈美恵 ▶ 1,906
- 負けないで | ZARD ▶ 751
- 夜空ノムコジ | SMAP ▶ 559

フルートデュオ ア・ラ・カルト
 楽譜の特殊奏法を解説!

The Fluteザ・フルート
 フルートオンライン連載「アレクサンダー・テグニークですつきり!フルート」第9回動画公開しました!

HOT VIEW

今話題の人気記事

LOVE ALTO FLUTE
 アルトフルート 校長
 お気に入りのアルトに出会う アルトフルート 校長

HAPPY FLUTE LIFE
 第6回インタビュー編「上野由美と絵画」

JAZZ店
 第7回インタビュー編「探訪記」

Consistency
 石井雅之の奏で「コンスタント」

フルートを知らず

PRAY FOR KYOANI「けいひん」を撮る

HAPPY FLUTE LIFE
 第9回インタビュー編「坂上健とサッカー」

WEB 連載!フルート
 リンクスのフルートしくじり学

File:081 本音前は演奏も大事! リンクスのフルートしくじり学

吹奏楽課題曲
 練習ノットと練習